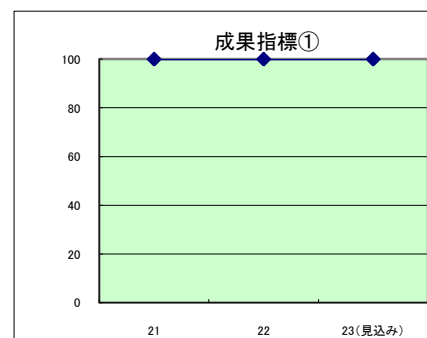
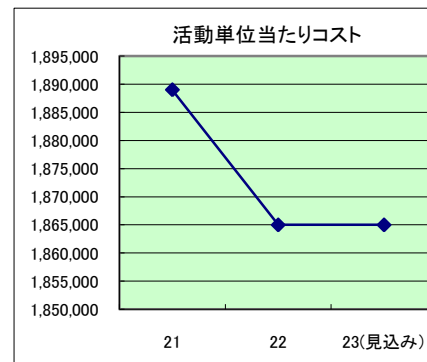


事務事業名		羽曳野市みどりの推進協議会助成事業		会計	1	一般会計	
				款	8	土木費	
総合基本計画	まちづくりの目標(章)	1	安全・安心、快適で住みやすいまち	項	4	都市計画費	
	施策(節)	10	公園・緑地・緑化	目	3	公園費	
	施策の方向	(1)	緑地の保全と緑化の推進	事業	1	緑化推進	
関連する計画等				作成部署	土木部みどり公園課		
事業の目的	対象(誰を・何を)			連絡先	072 - 958 - 1111 内線 2420		
	羽曳野市みどりの推進協議会						
	意図(どういう状態にしたいのか)						
事業の内容	市緑化行政に対する助言・提言や市民参加のみどりのまちづくりを促進する。						
	活動助成金を交付し次のような事業展開						
	・都市緑化功労者と公園美化功労者の選考 ・イベントでの緑化啓発活動(花、苗木の配布) ・都市緑化月間PR活動 ・緑化施策への提言 ・植樹活動 ・先進都市緑化施設の視察研修						
根拠法令等		羽曳野市みどりの推進協議会設置要綱, 羽曳野市みどりの推進協議会助成交付要綱					
事業開始時期		☐ 昭和 8 年開始 ☐ 明確にはわからない ☒ 平成		終了年度 平成 年度			
事業開始時からの状況変化							
市民や議会の要望							
実施手法		☐ 直営 ☐ 一部委託 ☐ 全部委託 ☒ 補助金・助成金 ☐ その他()					
委託先		☐ 市外郭団体委託 名称() ☐ 民間委託 ☐ その他		委託内容			

区 分		21年度	22年度	23年度
		(実績)	(実績)	(見込み)
事業費【1】 (千円)		389	389	389
人件費【2】 (千円)		1,500	1,476	1,476
職員数	正規職員	0.20 人	0.20 人	0.20 人
	再任用職員	0.00 人	0.00 人	0.00 人
	嘱託職員	0.00 人	0.00 人	0.00 人
	臨時職員	0.00 人	0.02 人	0.02 人
	超過勤務(参考) (時間)	0.02 時間	0.02 時間	0.02 時間
総事業費 (【1】 + 【2】) 【A】 (千円)		1,889	1,865	1,865
財源内訳	国費 (千円)			
	府費 (千円)			
	市債 (千円)			
	その他 (手数料・使用料等) (千円)			
	一般財源 (千円)	1,889	1,865	1,865
活動指標(事業の活動実績)【B】 単位		21年度	22年度	23年度(見込み)
① 助成件数	件	1	1	1
②				
③				
活動単位当たりコスト (【A】 / 【B】 ①)		1,889,000 円	1,865,000 円	1,865,000 円
市民1人当たりコスト (【A】 / 人口)		16 円	16 円	16 円



成果指標 (事業目的の達成度を測る指標)	指標名	単位	指標設定の考え方	平成21年度	平成22年度	平成23年度
	① 事業計画達成率	%	助成金の交付により団体の活動がどれくらい活発化されているか	目標 100	実績 100	達成率(%) 100.0%
	(式) 実施事業数÷予定行事数×100			目標 100	実績 100	達成率(%)
②	(式)			目標	実績	達成率(%)

市の関与の必要性	市の関与が必要な理由									評価	
	1	2	3	4	5	6	7	8	9	必要性	分析・評価の説明
	法令上の義務	受益者が不特定多数	最低限の生活水準を確保	市民の不安を解消	社会的経済的弱者を対象	民間だけでは負担しきれない	民間だけでは供給不足	市の特色等を市内外へ発信	第三者にも受益がある	有	より効果的な緑化政策の提言や市民と一体となった事業を展開するには、市の助成は不可欠である。

分析・評価	視点	分析のためのチェック点	はい	いいえ	該当なし	分析・評価の説明
	妥当性	市民ニーズが高い	☒	☐	☐	緑化政策への助言・提言や市民参加の緑化推進を担っている団体に助成することは妥当である。
		市民ニーズに比較してサービスの供給過剰となっていない	☒	☐	☐	
		社会情勢の変化に対応している	☒	☐	☐	
		他市の水準と比較しても、対象範囲や水準を見直す必要がない	☒	☐	☐	
		国・府の事業と重複していない	☐	☐	☒	
		事業を休止、廃止した場合の影響度が大きい	☒	☐	☐	
		緊急性が認められる	☐	☒	☐	
	効率性	単位コストが適切である(経年、他市比較など)	☒	☐	☐	必要最小限の助成金で活発な事業が展開されている。
		受益者負担の割合は適当である	☐	☐	☒	
		人員を削減する余地がない	☒	☐	☐	
		事業費を削減する余地がない	☒	☐	☐	
		簡略化できる方法や手段がない	☒	☐	☐	
		市の他事業と重複していない	☒	☐	☐	
		民間活力(民間委託、NPO、ボランティア、PFIなど)の活用について検討の余地がない	☐	☐	☒	
	有効性	上位の施策(目的)が明確である	☒	☐	☐	緑化推進の上で貢献度の高い事業である。
		上位の施策(目的)への貢献度が高い事業である	☒	☐	☐	
		成果を向上させる余地がない	☒	☐	☐	
		市民の視点にたってサービスが提供されている	☒	☐	☐	
	協働性	事業の企画、立案に市民が参加している	☒	☐	☐	市民団体の代表により構成されており、緑化行政に貢献する事業を活発に展開している。
		事業の実施に向けて、市民と情報の共有が図られている	☒	☐	☐	
		事業の実施について積極的に市民の意見を反映している	☒	☐	☐	
		事業の実施に市民の参加、協力が得られている	☒	☐	☐	
	達成度	成果指標の目標値は適正である	☒	☐	☐	事業計画通り活動を実施している。
		成果指標の実績値は目標値以上である	☒	☐	☐	
		成果指標は前年度より向上している	☒	☐	☐	

担当部局評価	総合評価	
	☐ 拡大・充実 ☒ 現状維持 ☐ 方法改善 ☐ 民営化・民間委託 ☐ 縮小 ☐ 廃止・休止 ☐ 完了	
	評価の理由	
	市民の立場から緑化政策への提言や施策の検討を協議している。また、活発な市民参加のみどりのまちづくり活動を展開している。	
	今後に向けて(取組方針、具体的な改善改革案など) 引き続き活動の活性化と市民参加の緑化推進に向けて支援する。	
行革本部評価	総合評価	評価理由・意見
	☒ 拡大・充実 ☒ 現状維持 ☒ 方法改善 ☒ 民営化・民間委託 ☒ 縮小 ☒ 廃止・休止 ☒ 完了	